

第46号



2016. 7月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029 288 7013 FAX 029 288 7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyō.com>
編集 広報ボランティアグループ



「沢山小にて」
親子で車イス・
アイマスク体験学習



6月14日(火)沢山小学校
体育館において、車イス・ア
イマスク体験学習が開催さ
れ、3年生の児童15名とそ
の保護者の方々が参加され
ました。

この目的は、福祉教育の一
環として車イス・アイマス
ク体験を行い、ボランティア
アの心を育て、今後の生活
に活かせるようにするところ
にあります。

講師は、社会福祉協議会
より派遣された、ほほえみの
会」の7名です。

車イス体験班と、アイマ
スク体験班に分かれて開始
です。車イス班は操作方法
の説明を受けた後、車イス
に児童が乗り保護者が押し
て、僅か20cm程の高さの坂
道を通し、次に10cm程度
の段差を乗り越えます。更
に床に敷いた体操用マット
の上を5m程移動するなど、
障害物を乗り越える体験で

す。一周したら保護者と児
童が入れ替わり、同じルー
トを移動します。保護者が
乗った車イスを、3年生の
児童が押すのは大変です。
児童一人では、僅かな高さ
でも越えるには体力的に無
理があり、講師の助けを求
めていました。

アイマスク体験班では、
最初に児童がアイマスクを
装着し、白い杖を持ち保護
者と手を繋いで歩行開始で
す。ステージの階段を上が
りピアノを一周し、障害物
を通過して元の場所に戻り
ます。次に児童と保護者が
入れ替わり再度、同じルー
トを歩行します。この時、

階段では、あと何段あるの、
どこが床なの」と言う保護者
の声がかえって来ました。

アイマスクを外した時には
児童・保護者共に、見えない
ことの恐怖感を、改めて実
感した様子でした。

この体験学習で、困って
いる人が居たら、手を差し
伸べる気持ちを育てること
が出来たと感じました。

福祉体験 の 感想



ぼくたちのためにアイマスクと車いす体けんのボランティアにきてくださってありがとうございます。おかげで目がふ自ゆうな人や足がふ自ゆうな人の気持ちがわかりました。ありがとうございました。

猿田健流

ふくし体けん、とても勉強になりました。アイマスクがとてもこわかったです。お母さんはかいごの仕事をしているので、わかってみたいみたいです。

大竹このみ



わたしたちのために、車イスにのっている人や、目のふじゆうな人のたいへんさを教えてくださいありがとうございました。わたしも体のふじゆうな人のたいへんさをすることができました。

蓮田美咲



わたしは、車イスにのったのがはじめてだったので、少しむずかしかったです。お母さんをのせて車イスをおした時、マットレスに上がった時、Sの字にまがるのがむずかしかったです。アイマスクもはじめてやりました。目をかくした時、なにも見えずにこわかったけど、目のふ自ゆうな人の気持ちがよくわかりました。お母さんにも、やさしく親切に教えてもらってよかったです。

加藤木結衣

アイマスクをやって目の不自由な方の気持ちがわかりました。目の不自由な方はこんな気持ちなんだとはじめて知りました。車いすはだんさものぼれるのでびっくりしました。

所知紗

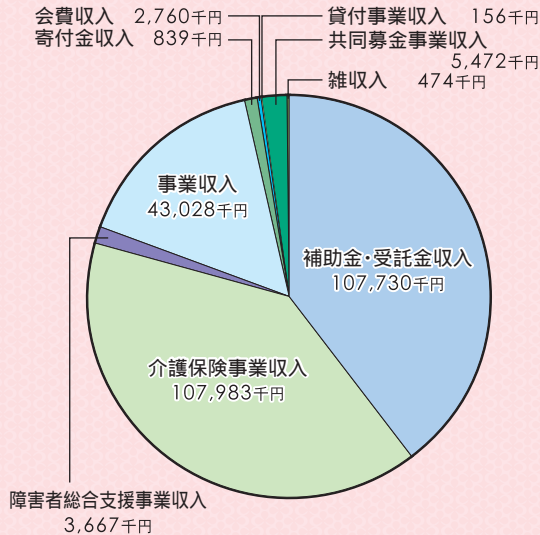
目が不自由な人がどんなふうかわかりました。車イスではすぐつかれて大変だとおもいました。

白土佑哉

H27年度城里町社会福祉協議会決算

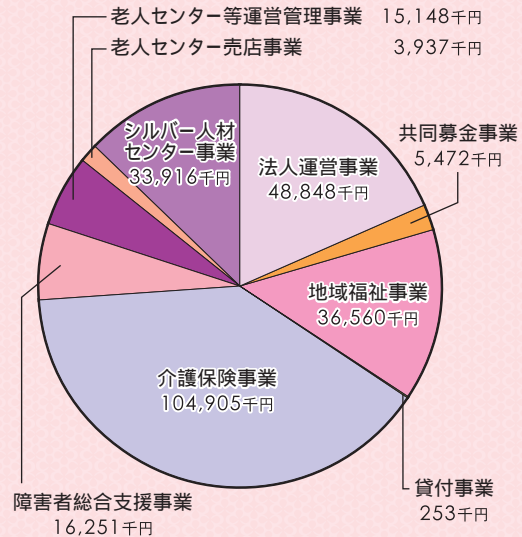
収入の部

収入 272,109千円



支出の部

支出 265,290千円



◆H27年度 事業実績報告◆

社会福祉大会	善意銀行寄附者、福祉功労者の表彰、受賞者96名（団体含む）		
地域ケア推進事業 キーパーソン会議 研修会 クイック調整会議	事例検討、意見交換（民協定例会において実施） 計12回 地域ケアシステム推進事業 研修会 参加者 145名 <在宅ケアチーム 134チーム> 3回		
配食サービス	利用登録者数 147人	延べ 5,684名	利用
ふれあいサロン事業	自主活動サロン（48か所）	延べ 9,279名	参加
ふれあい訪問サービス		延べ 874名	利用
介護用品支給事業	支給者実人数 4名	延べ 38名	
子どもヘルパー派遣事業	自宅訪問事業ほか17回実施	子どもヘルパー20名	延べ496名参加
地域活動支援センター事業	* 農作業・外注作業など実施	対象者 11名	
日中一時支援事業		延べ 860名	利用
在宅福祉サービス事業	利用会員登録数 21名	協力会員登録数 15名	
入学準備金支給事業	小・中学校入学祝い金支給	11名	
訪問理美容サービス事業		延べ利用者 18名	
紙おむつの配付		延べ利用者 316名	
ボランティア活動事業 福祉体験学習 ボランティア体験	小・中学生対象 中学生対象	福祉体験など6回開催	延べ 551名参加 延べ 42名参加
心配ごと相談事業	<相談件数実績>	延べ 63件	
居宅介護支援事業	・実人数 246名	延べ 1,972件	
訪問介護事業	・実人数 37名	延べ 202名	
訪問入浴介護事業	・実人数 5名	延べ 45名	
通所介護事業	・実人数 64名	延べ 560名	
障害者総合支援事業	計画実人数 77名	延べ 154名	
	訪問実人数 6名	延べ 63名	
身障入浴事業	・実人数 4名	延べ 36名	
シルバー人材センター	受注件数 1,139人	延就業人数 6,249人	
デマンド交通事業	利用者計 9,390人	減免利用者 3,278人	1日当たり 52人
金婚者への記念品贈呈	金婚該当者 10組		
火災見舞金	1件（住宅火災）		
小口貸付事業	11件		
老人福祉センター管理事業	やまゆり荘	利用者数 7,716人	
広報紙の発行 広報委員会	「かざぐるま 41号・42号・43号・44号」各戸配付 広報紙発行に関わる編集会議		累計16回

青山花しょうぶ祭 にぎやかに開催



下青山の休耕田、約4,000㎡の地に1万6,000株、70種の花しょうぶが競い合うように咲き誇っています。毎年恒例となった青山花しょうぶ祭が、6月18日(土)、19日(日)に花しょうぶ保存会主催、町観光協会、町商工会の後援でにぎやかに開催されました。



しょうぶ祭りを盛り上げた村上さんの演奏

18日の開会式では主催者、城里町長、商工会長の挨拶に、観客はうっとり聞き入っていました。両日とも好天に恵まれ、県内はもとより、県外からもたくさんの方が訪れ、掛茶屋でお茶を楽しんだり、気に入った花しょうぶ苗を購入したりしていました。また手作り小物や野菜などの販売もあり、花しょうぶ苗の売上金は社会福祉協議会に寄付されました。

参加された方は「山の空気の清々しさに心が癒されます」「来年もまた楽しみに来ます」など感想を述べていました。

保存会が受賞



花しょうぶ保存会代表の山崎さん

また5月31日(火)、茨城県観光物産協会通常総会の

席上で「青山花しょうぶ保存会」が、青山地区の休耕田へ花しょうぶ園を開園させ、周辺の環境美化活動を行っているとして、橋本県知事から表彰されました。代表の山崎秀雄さんは、これも保存会をはじめ、地域の皆さんのおかげです。これからも、ますます美しい花しょうぶを咲かせ皆さんに喜んでいただきます」と語っていました。

つくしの四季

僕は、5月28日(土)30日(月)の3日間、新幹線に乗って北海道に行ってきました。

2泊3日の旅というのは初めてで、車いす移動が長時間なので体力が持つかどうか不安でした。1日目は宇都宮駅、仙台駅を経由して札幌まで行きました。ほぼ移動で終わってしまい、着いた頃にはもう夕方になっていました。食べる予定をしていた有名な味噌ラーメンのお店には、車いすでは入るのが狭くて難しかったです。急遽別なラーメン屋さんを見つけてそこにきました。味は濃い目でしたが、中に入っていたコーンの甘さでまるやかに became きました。味は濃く、コーンの甘さでまるやかに became きました。

2日目は、午前中にさっぽろテレビ塔で札幌の町を見渡しました。それから函館に向かいました。その夜は、函館山から夜景を見ました。光が地形に沿って広

がっついていて函館の形がくつきりとわかり本当にここまで来たことを実感させられました。

3日目は、函館朝市で海鮮丼を食べました。切り身も厚みがあり、新鮮で美味しくすごく満足感を得られました。最後にお土産を買って家に帰ってきました。今回の旅行を振り返って、北海道の広大さを改めて感じました。僕は出かけることで自信もつき頑張っている気持ちになり、それを見て周りも同じような気持ちになっただけなら嬉しいです。これが今の僕が出来ることなので、これからも続けて行こうと思います。

加藤 直



きほんと生きる

防災を目指して地域に出動

城里町消防団女性消防部



私たち城里町消防団女性消防部

城里町総務課 地域防災室 消防・防災グループ」の中に平成26年新設され、女性団員だけで構成された部署があるのをご存じですか。初年度は3名でのスタートでしたが、現在は8名で構成されています。

ているとのことですが、子育てと消防・防災の業務を両立して活躍しています。更に団員の皆さんはベリィダンス、フラダンス、和太鼓など数多くの趣味も持っています。

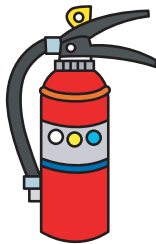
主な業務は、出初式や操法大会の応援、町民祭り等へ参加し、消防・防災に関する広報活動を行っています。

また女性ならではの特性を活かして、幼稚園児やその保護者に対しても防災教室を開催しています。

今後、応急手当普及員の資格を取得し、AEDや救命に係わる知識を深めたいと思っています。更に活動の幅を広げ、特に高齢者の災害を減らすため、一人暮らしのお年寄りに対

する安全指導、老人ホームでの安全指導等も計画しています。

防災の原点は、地域に向いて町民と密着した活動を行うことであり、最も効果のある手段です。これからも積極的に地域行事に参加して行きます。同時に自らの防災知識も高めることが必要であり、他の自治体との交流を行い、防災のノウハウや情報の交換を行っていると話しております。地域で開催する防災訓練において、女性消防部による防災指導を要望される場合は、城里町総務課にご相談ください。喜んでご指導頂くことができます。



七会地区 子供ヘルパー活動

6月25日(土)七会保健センターで子供ヘルパー活動がありました。子供達が手作りのクッキーを焼きそれに手紙を添えて、七会地区のふれあい訪問対象者に届けるというものでした。この子供ヘルパーは去年の9月に発足しました。活動は年間のスケジュールに合わせて行うとのこと。

早速クッキーを作っている部屋に入ると、頭に白い帽子を被りお揃いの可愛らしいエプロンをした七会小の女子児童5人が、ボランティアの方々の指導を受け一生懸命クッキーを作っていました。生地が柔らかいのでうちに子供達は思い思いの



手づくりクッキー 心をこめて

形に挑戦していました。ハート形、星型、そして花びらと次々と作っていく様子は楽しそうでした。またボランティアの方々の丁寧なアドバイスも子供達は素直に聞き入れ、良い雰囲気の中での作業でした。

クッキーをオーブンに入れ焼きあがるまでの間、別の部屋に移動してお手紙を書きました。書き方や内容などは、例文をよく読んで友達同士で相談し、書き上げていました。子供達に感想を聞いてみると、「いろいろなものを作ることができて嬉しいし楽しい」という答えが返ってきました。

児童2名とボランティアさん2名の訪問に同行しました。子供達は2人で声を揃えて上手にお話ができるようになってきました。手作りのプレゼントとお手紙を持ち訪問。かわいい2人が練習した言葉を一生懸命話していると、訪問先の高齢者もボランティアの方々も思わず微笑んでいました。今後の活動を通し、地域の方とのつながりをさらに深めていけるよう期待します。

シルバリーヘルス下青山

柏餅作りで、和気あいあい

シルバリーヘルス下青山のふれあいサロンの中から、いきいきヘルス下青山が、旧暦の節句の6月9日(木)に柏餅作りを行いました。

朝の9時から始まり、みんな和気あいあいとおしゃべりしながら次々と作り上げ、70個の柏餅があつという間に完成しました。

出来立ての柏餅と各自で持ち寄ったサラダや漬物・フルーツ等をみんなで頂きました。お餅は弾力があり、あんこもおいしく好評でした。話もはずんで、楽しいひと時を過ごせました。

いきいきヘルス下青山は、70歳から90歳までの10名で活動しています。毎週土曜



手慣れた手つきで柏餅作り

日(5月と9月は休み)午前9時から11時まで、シルバリー



ご馳走の前で「ハイチーズ」

ピリ体操を行ってから、みんなで持ち寄ったお茶菓子を食べながらおしゃべりを楽しんでいます。

90歳になる方のお話では「毎週ここに来るのが楽しみで、体操もここだけだけでなく、家でも毎日やっています。そのおかげで体も元気です。いられます」と話されました。また、毎週出掛け

る事が出来るのも家族の協力のおかげです」との声もありました。

町内には48ヶ所ふれあいサロンがあり、それぞれ活動時間等は異なりますが、興味のある方は社協へご連絡ください。

城里町社会福祉協議会

029 288 7013

シルバリーヘルス下青山 体操を身近に

4月26日(火)に区長会があり、その席上にてシルバリーヘルス下青山の紹介とサロンの説明がありました。当日は、区長、町長をはじめ町幹部職員が参加しました。

体操後、会議の後でとてもスッキリしたよ。この体操はとてもいいね」などの感想がありました。

現在48ヶ所のサロンは、区長はじめ多くの方のご協力により開所されています。サロン活動は、介護予防の一環です。ひとりでは難しいことも地域で協力していくことにより、住み慣れた土地で元気に過ごすことができます。



体操でリフレッシュ

脳トレ

2次の熟語の反対語は何ですか。漢字で書いてください。

- | | | | |
|------|----------------------|------|----------------------|
| ① 復習 | <input type="text"/> | ⑥ 絶対 | <input type="text"/> |
| ② 集合 | <input type="text"/> | ⑦ 縮小 | <input type="text"/> |
| ③ 承諾 | <input type="text"/> | ⑧ 温和 | <input type="text"/> |
| ④ 積極 | <input type="text"/> | ⑨ 美点 | <input type="text"/> |
| ⑤ 延長 | <input type="text"/> | ⑩ 気長 | <input type="text"/> |

すぐに解答が出来なくても考える事が大事です

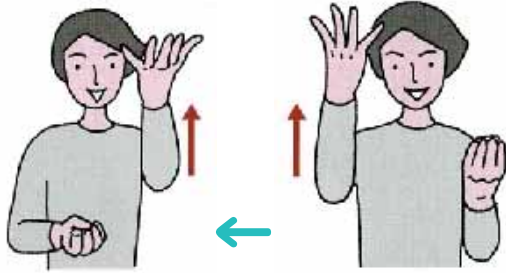
答えは8ページにあります。(シニアレク会館サイトより)

手話を学ぶ

⑰ 夏

鬱陶しい雨の季節も残りわずか、梅雨明けが待ち遠しい昨今ですね。今回の手話は夏にちなんだものをやってみましょう。

「花火」
この手話は、花火が上が
る様子からきています。



「キャンプ」
この手話は、テントの
形を表しています。

指先をくっつけた両手を並べ、
右手を開いて上げる。次に左手と
交互に指を開きながら上げます。



「オリンピック」
この手話は、シンボルマ
ークの5輪を表しています。



「フラジール」
この手話は指文字の「フ」
で「コーヒー」を混ぜる様子か
らきています。



「キャンプ」
左手を筒形にしその上で左手を
回します。

「海外旅行」

この手話は「世界」と「飛
行機」という2つの手話を
使って表します。

①世界
この手話は地球儀からき
ています。



②飛行機
この手話は飛行機が離陸
する様子からきています。



「船」
この手話は船が進む様
子を表しています。

この手話は船が進む様
子を表しています。



「クーラー」
この手話はクーラーから
風が吹き出す様子からきて
います。

この手話はクーラーから
風が吹き出す様子からきて
います。



両手の指を少し曲げて小指側につ
け、前に出します。

頭上に手を平を手前に向けた両手
をおき、手前に引きます。
「寒い」手話を学ぶ(参考)、「クー
ラー」で冷房を表し、「暖かい」手話
を学ぶ(参考)と「クーラー」で暖房
を表します。
(すぐに使える手話辞典 6000 より引用)

ホタルの棲む川



ホタルは、きれいな水が流れて岸边には土と植物が生い茂っている川に棲んでいます。(ホタル保護の為、生息地は明記していません)

私達の町には、ホタルの棲む川が、まだ数ヶ所残っています。暗闇の中、ホタルの光に誘われて川の土手に佇んでみると、光が一つひとつと増えていき、気づくと50個位の光に囲まれていました。ゆっくりと点滅したり、飛んでいたりして、幻想的で美しい景色でした。

現在、ホタルの数が年々減少しています。私達がホタルの生息できる環境を大切にすれば、いつまでもホタルは美しい光を観せてくれるでしょう。

わが町のさわやか元気さん

39

駒井 瞬造さん 85歳 勝
英子さん 82歳 小

瞬造さんは、少年期を満州の地で家族と暮らしていました。帰国後、富士山麓の開拓に両親と入りましたが、あまりにも過酷な労働の為茨城県に移り住みました。旧七会村の開拓者となり、父親と一緒に2年間かけて2ヘクタールの土地を開拓鋤で開墾しました。戦後70年、常に挑戦の人生を

富田 重子さん 85歳 徳 蔵

重子さんは38歳の時に仕事中の落盤事故でご主人を



振り返り「赤い日月」と題した自叙伝を自費出版しました。

英子さんは国立病院で看護婦をし、婦長職を3年間されていましたが、結婚を機に退職しました。その後旧七会村で養護教員として、小・中学校の保健指導をし、地域では食育健康保持、食生活改善推進員と、又健康づくりアドバイザーとして貢献されています。

亡くされました。その後は農業をしながらゴルフ場のレストランや縫製工場等で働き5人の子供さんを育てました。現在は娘さん達も嫁ぎ、息子さんも結婚されて水戸に住んでいるので1人で暮らしています。

近くに娘さんが嫁いでおり、石塚に住んでいる妹さんも車で来てくれるので笠間に買い物に行ったり、おしゃべりしたりして過ごす時もあり、月2回の徳蔵サ

現在はご夫婦で、太陽光発電施設を整備し、諸事業に取り組んでいます。「行きつけば、また新しき里の見え」英子さんの好きな言葉です。



ロンにも参加しています。「1番楽しい事は兄弟姉妹での年1回の旅行です。今回で27回になりました」と笑顔で話されて、写真を見せてくれました。

家にいる時は、草取りをしたり、野菜や花づくりをしています。ご苦労もされたように明るく若々しい重子さん、これからもお体に気をつけられてお幸せに。

来たれ!
福祉防災
フェスティバル

城里町ボランティア連絡協議会では、設立10周年の節目として、「福祉・防災フェスティバル」を計画しております。

日時 9月3日(土)
13時30分～15時

会場 コミュニティセンター 城里

「新聞紙でスリッパを作ろう」「非常食を食べてみよう」「ボランティア活動・災害派遣パネル展示」などたくさんのおすすめを設け、スタンブラリーを実施します。

さらに、もつたないをありがとに変えるフードドライブ運動も実施。御家庭であまっている食品をお持ち下さい。町民の皆様、ぜひ、コミセンにお集まりください。

賞味期限

1カ月以上余裕のあるものを
寄付していただきたい食品
缶詰・フリーズドライ食品
インスタント食品等
受け取りのできない食品
賞味期限の記載のないもの
賞味期限切れの食品

目次

1	沢山小にて 親子で車イス・フェイスマスク体験学習 福祉体験の感想
2	H27事業報告・決算報告
3	花しょうぶ祭
4	つくしの四季
5	きらつと生きる 子どもヘルパー活動
6	いきいきヘルス下青山 シルバリーハビリ体操を身近に 脳トレ
7	手話を学ぶ
8	しろさこ わが町のさわやか元気さん 来たれ!福祉防災フェスティバル 目次・編集後記

編集後記

空からアジサイの葉の上
に止むことなく雨が落ちて
いる。小刻みに揺れている
その葉の上を小さなカタツムリがゆつくりと這つてい
く。角を伸ばし前へ前へと
進んでいく。イタズラして
みよう、と近づいたが、待
てよ!彼も目的があつて移
動しているのだ。じゃまし
ないで見てみよう」と思い
つつ、チョン!久しぶりに
童心に戻った気がした。